

基本的な方向性（案）

国家戦略担当大臣

女性の活躍を我が国の経済再生のための喫緊の課題として取り組む

- 福祉や男女平等論ではなく、経済再生論として取り組む。
 - 仕事と育児等の両立支援策や企業トップの意識改革により、女性の就業継続や再就業を支援することのみならず、起業・経営や研究など様々な分野で女性の活躍を推進することで、女性の視点やアイデアを活かしたイノベーションを創出。
 - 女性の活躍推進については、これまでも男女共同参画会議等で施策メニューが示されてきたが、その実現にはトップダウンの政治判断や男性の意識改革が重要。
- 
- こうした問題意識のもと、本閣僚会議として、以下の「3つの柱」で重点的な推進事項を6月までに整理し、年内に工程表を含めた具体的施策を取りまとめることとしてはどうか。

1. 男性の意識改革

2. 思い切ったポジティブ・アクション

3. 公務員から率先して取り組む（政府の本気度を示す）

【主要検討課題（案）】

男性の意識改革

- 企業トップの意識を変え、企業の積極的な取組みを引き出すための女性の活躍の推進状況の国民等への「見える化」を実現すべく、関係府省が連携して実効性のある「見える化」推進策（女性管理職比率の有価証券報告書への盛り込みや、行政のウェブサイトを活用した企業の女性活躍の状況や向上のための取組の公表等）を展開
- 「見える化」の実施やポジティブ・アクション実施を図るよう、政府を挙げて企業や団体に直接的に働きかけ(2015年度までに2万社超)
- 女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる企業の優良事例を選定し、そのノウハウを広く発信
- 女性の活躍による企業・家計・社会へのメリットを数値化し、国民にわかりやすく説明
- 公務員の男性育児休業の取得を強力に推進（目標前倒し、具体的な推進策）
- イクメン父親の会を各府省で設置し、民間に取組みを広げる
- 国際的な取組とも連携し、男性をメインターゲットとした広報の戦略的展開
- 男性の家事分担の促進に向け、男女が協力して家庭を築くための教育の更なる充実
- 働き方に中立的な制度の実現に向けた税・社会保障制度の見直しについて、国民各層の理解を得るための取組

思い切ったポジティブ・アクション

- 各府省の予算事業における「女性枠」の設定など、政策ツールを大胆に活用し、起業、研究、農林水産業など多様な分野における女性の活躍を推進。

期限を区切ったモデル事業として、各府省の政府調達などで、女性の活躍状況の思い切った推進方策を検討

- 女性の起業を後押しする思い切ったハンズオン支援の実施・促進

- 正規・非正規を超えた、女性が活躍しやすい雇用のあり方を検討

- 「経済社会課題対応事業の促進に関する法律」等を活用した、女性の就労を支援するサービス産業の育成

- 改正育児・介護休業法の周知・徹底に加え、更に取りやすく復職しやすい育児・介護休業や短時間勤務制度に向けた課題を整理し、環境整備等更なる取組

- 学校教育等において、中学高校の段階から女性の人生設計支援やキャリア教育を推進。あわせて、保護者や教職員への普及啓発

公務員から率先して取り組む（政府の本気度を示す）

- 公務員における採用・登用は男女半々が当たり前との考え方で、女性の採用・登用を推進

- 公務員の男性育児休業の取得を強力に推進（目標前倒し、具体的な推進策）（再掲）

- イクメン父親の会を各府省で設置（再掲）

- 公務員の在宅勤務や、育児休業期間中にスキルを維持できるようにするための取組の推進